

大和高田市地域公共交通計画（素案）に対する意見募集（パブリックコメント）結果について

1. 意見募集の概要

政策等の題名	大和高田市地域公共交通計画（素案）
意見提出期間	2022年2月25日（金）～ 2022年3月17日（木）
市民への周知方法	大和高田市役所、市内公共施設、ホームページ

2. 結果の概要

持参	7件
Eメール	1件

3. ご意見とそれに対する市の考え方

次ページ以降に記載しています。

提出された意見およびそれに対する市の考え方

No.	いただいたご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	実施主体が市単独であることから、スケジュールを少しでも早く前倒しで、再編・継続することにより、市民アンケート調査及び「きぼう号」利用者アンケート調査の結果に基づき、ダイヤや行先の調整等の課題を1日も早く克服し、目標の実現を達成し、利便性を増してほしい。	第8章でも述べていますように「きぼう号」だけを見てダイヤの見直しを行ってしまうと他の公共交通機関とのバランスが崩れてしまい、結局は使いにくいものになってしまいますので、「きぼう号」以外の公共交通機関等とも連携しながら、ダイヤ再編等に取り組んでまいりたいと考えます。ただし、取り組める対応についてはその都度対応していきたいと考えています。
2	「きぼう号」の利用者は高齢者が多く、買い物や病院が目的の利用が多いため、大和高田市立病院を出発し、JR高田駅、近鉄高田駅、近鉄高田市駅を回る専用シャトルバスを1台増やした上で、「きぼう号」の路線と連絡するダイヤを組んでほしい。	「きぼう号」は大和高田市のコミュニティバスであり路線バスや病院等の送迎バスとは役割が異なります。市外の方が利用されるものを拒むものではありませんが、やはり中心としては市民の方の外出支援としての役割が大きいと考えております。また、車両の大小にかかわらず、1台増車することにより運行経費も増額となります。市民皆様から頂いている税金を活用して運行しております「きぼう号」ですので、再編時に各バス停の乗降状況等を踏まえ、慎重に検討してまいりたいと考えます。
3	市民の利便性を大きく向上させることができる、市民が行きたい時間に行きたい場所に行けるデマンドタクシーを導入してほしい。	デマンド交通の導入目的としては、山間部等の過疎地で公共交通が行き届いておらず、利用者の所在が点在している地域等で住民の移動手段の確保のために多く用いられることが挙げられます。しかし、本市は約4km四方のほぼ平坦な地形であり、6つの鉄道駅、路線バス、タクシー（5事業者）などの公共交通機関も充実しております。また、路線バスが運行していない地域についてコミュニティバス「きぼう号」を運行することにより市内の交通空白地域をカバーしており、デマンド交通の導入メリットとしてはそれほど大ききなものとは考えにくいと思われます。また、デマンド交通を導入している他の自治体からの意見として、導入・運用コストや既存のタクシー事業者との競合、乗合の予約が必要などデメリットについて多く報告が出ております。これらの状況を総合的に考察した結果、現段階ではデマンド交通を導入するメリット以上にデメリットが大きいと思われます。
4	「きぼう号」のコースの見直しをお願いします。具体的には現状の6系統について、最低毎時1本の運行によりもっと便利に利用できると思います。また、新たに中央循環コース（市民交流センター、高田市駅、市立病院、市役所、さくら荘、中央公民館、近鉄高田駅、JR高田駅）を作成の上、東部線、西部線、南部線に接続することで便利になればと考えます。	アンケート調査などからも中心市街地の方の移動手段としては徒歩や自転車がが多く、現状としては、コミュニティバス「きぼう号」の役割として、特に高齢化が進んでいる郊外から中心市街地の駅や公共施設、商業施設等への移動であると考えられます。また、現行の路線は、その郊外から中心市街地の主要停留所へは乗り換えなしに移動することができ、高齢者等が複雑な乗り換えに戸惑わないよう考慮されています。また、現在3台の「きぼう号」を運行しておりますが、今以上の増便をおこなうには車両の追加、運転手の確保など相当な経費の追加となります。現在利用していただいている利用者の乗降等を考慮しながら、より効率的な運行形態を研究していきたいと考えています。
5	奈良医大やイオンモール橿原など、県の交通政策で、ある程度広い範囲で考え協議して、実現してほしい。	広域的な公共交通のあり方として、奈良県では「奈良県公共交通基本計画」や「奈良県公共交通網形成計画」が策定されております。この中には、各市町村が実施や計画している交通施策などについても記述されております。これらの交通施策などの進捗状況などについても県主催の会議で議論され、各市町村間での情報共有を行っています。本市の地域公共交通計画にも記載しておりますが、今後の課題として公共機関やそれ以外の病院送迎バスなどとの連携が必要となってきます。この連携を行うことにより、市域を超えた移動の利便性向上につながると考えます。

No.	いただいたご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
6	等間隔ダイヤ10分おきにシャトルバスを出して、総運行回数を減らす工夫をする事でわかりやすく、利便性につながり、乗客数を増やすことができます。	どこからどこへのシャトルバスかは不明ですが、市が行っているコミュニティバス事業は、交通不便地域の方たちの鉄道や路線バスへの接続、公共施設や商業施設に行っていただくことが主な目的であると考えます。また、シャトルバスとは、限定的な目的を持った利用者が利用されることが多く、そのために現時点において、さらなる経費を投入することは難しいと考えます。
7	JR高田駅付近の人口が多い。居住地域の住民が多いので、そこを拠点として考慮してほしいです。	近鉄高田駅とJR高田駅の間には多くのマンション等が立地しており、居住者も多くおられます。しかしながら、コミュニティバス「きぼう号」の役割として、特に高齢化が進んでいる郊外から中心市街地の駅や公共施設、商業施設等への移動により、周辺部から市内中心部へ人が集まるように路線を設定しているため、現状、市民交流センターを拠点としております。
8	バスを入れる事だけが目的となって、本来、地域の人の生活の質が満足いくものでなければならぬ。移動者の目線で移動を支える事が大切です。	貴重なご意見ありがとうございます。
10	JR和歌山線片塩第1踏切付近の一般道路路肩、自転車の通り道に大きく地面に「左側通行自転車」と書いてほしい。	本計画において定める事項ではございませんが、県管理の道路となるため市より申し伝えます。
11	葛城コミュニティセンターへの足が少なく時間帯も合わない。教室に参加しているが午前9時前後のバスが廃止になったので難儀しています。ぜひ復活をお願いしたい。	他の公共交通機関や別路線との乗り継ぎ等の関係上、期待に沿えない可能性もございますが、今後の路線再編時に検討させていただきます。
12	国土交通省に、NTT、近商ストア、岩井証券間の誰も使っていない歩道橋を取り外し、5の道の分岐場所を歩行者が歩行できる広いオープン道路にしてほしい。強く交渉してほしい。	大和高田市地域公共交通活性化協議会では、各道路管理者からの関係者も委員になっていただいております。頂いたご意見はその場で公表させていただきます。
13	バスが大変遅れて何十分も待つので、プラスチックの長いすはすぐに壊れるのでしっかりとしたもの、そして強風防止のため屋根や左右の囲いをつけてほしい。また、一人さえも立ってられない程、交通量の多い、細い道でのバス停では大変危険です。例としては「田井」、「築山赤坂町」など。	バス停の設置につきましては、法律上、警察との協議を行っております。市内には細い道も多く、バス待ちをしていただくのに整った環境をご提供できていない停留所もございます。ベンチ等の設置につきましても道路管理者や停留所周辺の住民の方などとの協議が必要で迅速に行えていないことも事実です。これらの問題を改善するため、まずは令和4年度にバスロケーションシステムの導入を予定しております。これは、バスの現在位置がスマートフォンやパソコンで確認することができるものです。バスの遅延等についても確認することができますので、停留所での待ち時間を減らすことができると考えております。
14	高田市駅と大和高田駅間の15分ごとのシャトルバスを別に作ってほしい。	現在、高田市駅と大和高田駅の間は、奈良交通の路線バスと本市コミュニティバス「きぼう号」が運行しております。現時点においても、この2つの公共交通が競合して状況です。そこに、シャトルバスを追加することで路線バスを圧迫すると、路線の維持についても問題が発生する可能性が出てきます。さらに駅間の距離は短いものの、15分ごとに走らせると年間の走行距離も長くなり、運転手の勤務時間も長くなるため、経費の増加が予想されます。以上により、現段階では実現は難しいと考えます。
15	古いものを改造したバスではなく、乗客が2〜3倍入る大型バスにしてほしい。	コミュニティバス「きぼう号」については、令和3年12月に2台を最新車種のノンステップバスに変更いたしました。路線バスも本計画内に記載しておりますように、ノンステップバスの導入ということで、一度にすべての車両を入れ替えるのは難しいものの、新しい車両に更新されています。また、奈良交通の関係者が大和高田市地域公共交通活性化協議会の委員にいらっしゃいますので、頂いたご意見はその場で公表させていただきます。

No.	いただいたご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
16	朝と夕方は満員になるので本数を多くしてほしい。	路線バスの事でよろしいでしょうか。奈良交通の関係者が大和高田市地域公共交通活性化協議会の委員におられますので、頂いたご意見はその場で公表させていただきます。また、この協議会には、近鉄やJRの関係者も委員として出席していただいておりますので、電車であったとしても関係者にはご覧いただけたと考えております。
17	市立病院は8:30より受付なのでそれまでに着くようにしてほしい	コミュニティバス「きぼう号」は、市立病院専用の送迎車両ではございませんので、期待に添えかねますが、今後の路線等の再編時に、検討させていただきます。
18	大和高田駅のターミナルにある椅子は石なので、座っているのがつらく、冬は使えない。木製に変えた上で滑ったり壊れないように注意点検をしてほしい。	ご不便をおかけし、誠に申し訳ありません。既に担当部署には連絡しており、石の上にシートを貼らせていただいております。
19	大和高田駅のバス停にまで行く歩行者用の白線を、駅舎から歩行者用の道を作ってください。	現時点において歩行者用の道を作る予定はございませんが、大和高田駅ロータリーにあります既存の歩道橋を利用していただくようお願いいたします。
20	「きぼう号」は市民同士のおしゃべりの場として大きな声でしゃべり個室のように個人化する地元の人々がほとんどです。	貴重なご意見ありがとうございます。
21	これほど行き止まりや蛇行している町は他に例を見ません。道が良くなれば市の発展はもっとある。	貴重なご意見ありがとうございます。
22	公園を生け垣や生壁にしまうと道路から公園の良さが見えない。通りかかった車から降りてみたいと思える、全体が見える素敵な公園であれば人口流入策にもなる。囲ってしまう習慣を捨てること。東三倉堂池の公園は生垣ばかりで暗く、一人歩きは危なく気持ちも悪い。事故車ばかりの保管地となっている。調整地を公園に。 各公園の生垣は生えっぱなしで土がたまりやすく、また雑草は生えやすく、ゴミも生垣にたまりやすく手入れが難しいので見通しが悪く犯罪が起こりやすいので、すべてを平らに遠くまで見渡せる芝生にすることで芝刈り機で刈り取ることもでき、経費も人件費も安くつく。	貴重なご意見ありがとうございます。